

国分寺市立小学校知的障害特別支援学級設置等検討委員会 (第3回) 要点記録

実施日時	令和5年7月26日(水)午後2時30分から午後4時15分まで
会場	国分寺市立教育センター
欠席者	1名
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 前回要点記録の確認 3 配布資料の説明 4 アンケート結果について 5 協議
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 前回議事録の確認 3 配布資料の説明 4 アンケート結果について <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について、委員からご意見等があれば伺いたい。 →「教室の席と席が近く、人と人との空間が保てない」「人数が多い」などの児童の意見がある。教室をカーテンで区切って活用する工夫はされているが、クラスでICTを使って動画の視聴などをすると、カーテン越しに音が聞こえてきて集中できないということもあると思うので、効果的ではないと考えられる。 →このアンケート結果と学校の実態から、空間の仕切りがあり、落ち着ける場所というのが児童にとって必要であると考えられる。 →「学校まで30分かかるのでもう少し近いとよい」という意見から、中学校に向けてスクールバスを使わずに歩いて頑張っている児童がいる。今の時期は朝も暑く、午前授業でお昼に帰っていくとなると、30分歩いて帰るのは大変だと思う。 →カーテンで仕切っている教室は、どんなに集中しようと思っても、隣から楽しそうな音が聞こえてくると、やはりそちらに一時的に意識が向いてしまうところがあると思う。 →結果の円グラフを見ると、児童はすごく満足している。これは先生方の努力だと思う。円グラフの結果だけ見るとうまくいっているのだと受け取れてしまう。記述を見ると、席が近く人と人との空間が保てないとか、学校が遠く、登校に時間がかかるというところとか、カーテンで仕切って隣の声がうるさいなどの課題が見えてきた。ただ、アンケート結果の数字だけが独り歩きしてしまうことのないようにしなければならなく、解釈は難しい。 →アンケート結果を見ると、先日、授業を参観させていただいたけれども、先生方はとても工夫されていて、すばらしい授業展開がされていたと思うので、その結果ではないかと思う。 →自宅から学校まで近く、歩いて通えるというのは子どもにとってメリットはあると思う。また、公共交通機関等、バスや電車だけではなくて、信号や歩き方の勉強、そして、地域の方と触れ合えるというのは、その地域の中で生きていくということにつながっていくと思う。 →環境整備というのはまず必要である。それも、ただ広さだけではなくて、それぞれグループごとの学習がほかのグループから影響を受けないような教室環境、騒音対策なども求められる。また、通学に関して、なるべく通学の時間が短くなるように配慮するという、児童から出てきた要望としてしっかり受け止めて、検討していかなければならない。 	

5 協議

○検討事項について

- ・本委員会が一番大きな役割としては、特別支援学級を新設するのか、それとも学区域変更にするのかという判断を本委員会のまとめとする。本日で3回目になるが、委員の皆様から考えられる方策として、違う学校に特別支援学級を新設すること、特に今、事務局から出された資料で、第二小学校のわかば学級の児童数が40人以上いることから、新設の場合には第二小学校の在籍児童を分割することが一つの方策と考えられる。もう一つの考え方としては学区域の変更である。現在小学校の知的障害特別支援学級が3校に設置されていることから、設置校の中の学習環境も整えていかなければいけない課題がある。また、登下校の時間の軽減も要望としてはあることから、これらを含めたらどちらがいいかというところで、委員の皆様から意見を伺う。もし学級を新設する場合は、最終的には事務局からさらに追加の情報を出してもらい、どこの学校に特別支援学級を新設するか、本委員会の最終報告として提案できればと考える。
- 自宅からの距離というのが出ているが、距離で決めた場合に均等にいくかというのはちょっと確実ではないと考える。しかし、人数で考えた場合に、今後転入してくる方がどこに住むかというのもあるので、どちらを重視するかというと、距離になると思う。また、市内のどこに住宅地があるとか、予測が立つのであればそれも含めて考えていくのがよいと思う。また、人数の話があったが、今いる人数で決めてしまうと、来年は同じところに同じ比率で学級に入る児童が住むとは限らない。自宅からの距離をベースにして結果的に人数が偏ってしまうということになるかもしれないが、距離を優先したほうがよいのではないかと考える。
- 登校には、バスも徒歩についても30分ぐらいで考える。もし午後0時15分に授業が終わって下校指導して30分前に出たとしても午後1時には自宅に着けるようにするべきだと思う。
- 地域とより関わり合える学区域がいいと思ったときには、やはり新設してより近いところの中で地域の方々に見守られながら安心して通えるというのは大事なことではないかと思う。
- 児童数が多い第二小学校の学区域の変更を重点としながら、国分寺市全体で考えていかなければならない。新設の場合は全体に影響が微妙に出てくる場所はあるかと思う。報告書の中に大まかに第二小学校を2分割するというのを一応原則に示していきたいと思う。
- 本委員会の報告の中でどこまで中身の部分に踏み込めるかというところがあるが、新たな体制を作って、全ての特別支援学級設置校がきちっとした教室環境を整備して、指導体制を作って、児童が通いやすいという、そういう環境整備を市全体で改善していければと思う。ぜひそういったところも今後推進していってもらうことについて報告書の中に入れていければと思う。
- ・本日の協議の結果としては、委員の合意としてやはり学級の設置が望ましい。人数の多い第二小学校の分割が原則になることから、位置的に、五小、六小、九小、十小、この辺りで候補の学校を検討する。教育委員会から情報提供をもらって次回候補となる学校を決めていく。そして、その学校での設置をこの委員会の報告に入れる。それに附帯していくつかの条件整備を報告書の中に入れていきたいと考える。

○事務連絡

第4回は、8月23日(水)14時30分～ 国分寺市立教育センター